

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度 第4回 大平地域会議
開催日時	令和5年7月27日(木) 午後6時30分 開会 午後8時06分 閉会
開催場所	プラッツおおひら 2階 多目的ルームA
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 地域予算提案事業の提案アイデアについて 4 その他 5 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
●事務局 ●会長 ●会長  ●事務局  ●委員A	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 地域予算提案事業の提案アイデアについて ① 地域課題の情報交換（グループワーク） 事務局より本日のグループワークの手順等について説明。 ・ A、Bの2グループに分かれる。 ・ 前回、各委員に本日までに記入提出を依頼していた「提案アイデア記入票」をもとに、各委員が順に発表する。グループ内で質疑応答しながら、意見交換して、イメージの共有を図る。 ・ 今回は、アイデアを出し合い、情報交換することを目的とするので、グループ内で1つ2つに絞るなどの取捨選択は、あえてしない。 ・ 最後に、話し合った内容を、各グループの代表が発表し、全員で共有する。 Aグループ アイデア発表 概要 ・ 公園の遊具が少ない。 ・ 遊水地と連携。 ・ 本屋さんが少ない。手軽に自由に、できれば無料で本を手に入れられるシステムはできないか。いろいろな場所に、誰でもどうぞの本棚の設置。 ・ おはやしや、踊りを、若い世代に伝承する世代間交流事業。

<p>●委員 B</p> <p>●事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所とされている施設の、設備や備品が劣化しているので、いざというときに不安である。</li> <li>・健康増進、健康寿命延伸を図る事業。集団参加型から個人の自由参加型に意識が変わりつつある。個人の散歩に付加価値をつける事業。例えばボタン一つでラジオ体操の曲が流れる設備の設置。</li> <li>・多国籍の人が多く感じるので、交流できるイベントはどうか。</li> <li>・体育祭に参加を呼びかけるような事業はどうか。</li> <li>・図書館の前の雑木林を整備してはどうか。子どもから大人まで、地域の人々の居場所づくりになる。「森の図書館」のイメージで、自然の中で、紙芝居や読み聞かせなどができるスペースを整備する事業。付近には、図書館、児童館、公民館、中央公園、運動公園などがあり、周辺施設と回遊性のある居場所になる。</li> </ul> <p>Bグループ アイデア発表 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館機能を強化して、地区市民センターの設置。地域会議の範疇を超えているとは思いますが、生涯学習やまちづくりの拠点として有効だと思う。</li> <li>・通学路の危険箇所を、現地視察して、それぞれの改善案を提案し、通学路の安全向上を図る事業。危険箇所への対応策は、多岐にわたり、窓口も分かりにくい。</li> <li>・自治会では役員の引き受け手が見つからず、後任を探すことが大きな負担になっている。若い人たちはネット社会の中で成長しており、自治会活動に積極的な関心をもたなくなってきた。市民の自治会活動への意識改革や自治会活動への参加を促すPRを実施してはどうか。さらに、市職員へ自治会活動に積極的に参加するようPRを実施してはどうか。</li> <li>・ごみのポイ捨て、不法投棄をしないよう啓発する事業。注意喚起の看板設置。日本語のみではなく、外国語表記の看板もあったほうがよい。</li> <li>・空き巣被害が多い。対策方法の周知強化。放送、回覧、防犯のメール配信などをシステム構築できないか。</li> <li>・子どもたちの居場所づくりの事業。ここに行けば誰かが居るという場所。入りやすい図書館や使いやすい児童館。</li> <li>・自転車や犬の散歩中に、ながらスマホやイヤホンをしていて危険な場合がある。全世代にスクエアドストレイト方式の交通安全教室を実施してはどうか。</li> <li>・スクールゾーンの規制があるのに進入車両がある。地域住民に対して、スクールゾーンの周知強化を図る事業。</li> <li>・災害多発している昨今、その際にどのように行動したらよいのか、また、避難所ではどのような対応をしてもらえるのか、などを周知してほしい。</li> <li>・地域の防災訓練を、市職員と一緒に実施してはどうか。その際、楽しく参加できるような工夫があるとよい。</li> <li>・猛暑や、突然の雷雨、ゲリラ豪雨、雹が増えてきているが、回避する場所がないと感じる。子どもの下校時に雷雨になることもある。小中学生の通学路沿いの公園等に、あずまやを設置する事業。そのほか、例えば、駅前に霧を出す装置を設置する事業。</li> </ul> <p>ありがとうございました。</p> <p>今回挙げた課題や事業アイデアを、一覧表等で整理し、次回の会議でも引き続き</p>
--------------------------	---

<p>●事務局</p>	<p>検討を進めていきたいと思う。</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 令和5年度大平地域交通事故防止対策事業の実施状況について（報告） 事務局より説明</p> <p>(2) 委員の推薦団体からの活動発表や意見交換について 事務局より説明</p> <p>地域予算提案事業の協議を進めるにあたって、委員以外の方が地域会議に出席して発表や意見交換を希望する場合は、事前に準備調整等が必要なため、令和5年8月8日(火)までにご連絡いただきたい。</p> <p>(3) 次回 大平地域会議 令和5年8月24日(木)午後6時30分から プラッツおおひら 2階 Aルーム</p> <p>5 閉会</p>
-------------	---

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

藤野 晴彦 会長	阿部 誠 委員	荒山 菜穂子 委員	伊藤 政博 委員
植原 瑞恵 委員	尾花 正人 委員	小堀 和子 委員	清水 泰子 委員
田村 誠志 委員	仲三河 マコト 委員	三井 健 委員	柳田 和子 委員

欠席者（委員）

藤倉 竜広 副会長	青木 理恵 委員	川田 健太郎 委員
-----------	----------	-----------

出席者（事務局）

大平地域まちづくりセンター所長（大平地域づくり推進課）	小島 清 課長
大平地域まちづくりセンター（大平地域づくり推進課）	小林 勝利 課長補佐
同	三浦 正明 主査
同	柴田 大輝 主事

傍聴

なし